

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	泉南市立泉南中学校	階数	地上3F
建設地	大阪府泉南市榊井2丁目	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第2種住居地域	平均居住人員	570 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,825 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2017年9月1日
敷地面積	28,038 m <sup>2</sup>	作成者	(株)東畑建築事務所
建築面積	4,913 m <sup>2</sup>	確認日	2017年9月1日
延床面積	9,781 m <sup>2</sup>	確認者	(株)東畑建築事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 88%

③上記+②以外の 86%

④上記+ 86%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	2.7
温熱環境	2.6
光・視環境	4.1
空気質環境	2.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

機能性	3.7
耐用性	3.1
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	5.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.8
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.5
地域環境	2.3
周辺環境	2.6

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
効率的な建て替え計画により仮設校舎が不要な上、短期間で建て替えを実現。太陽光発電や屋上緑化、雨水貯留タンクの採用など身の丈にあったエコを実現しています。	仮設校舎を造らず、既存校舎を使いながら新校舎を建設することで仮設校舎建設に掛かるCO <sub>2</sub> を削減し、環境に寄与している。
<b>Q1 室内環境</b> 学校として標準的な音環境としています。屋光センサーを採用し、無駄の無い効率的な照明計画としています。	<b>Q2 サービス性能</b> 教科センター方式の中学校として明確なコンセプトを示し、そのコンセプトを成立させるHB(ホームベイ)や各教科コーナーを造り、木製ルーバーを壁、天井に採用し、豊かな空間を演出しています。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁、屋根の断熱性を高め高断熱な建物としています。エコモニターを設置し、エネルギーの見える化に努めます。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 設備的には省水型機器を設けています。雨水貯留タンクを設けています。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周囲の緑を極力残し、又新たな緑を創出することで周辺に寄与します。古くからこの地にある煉瓦工場のイメージの継承として煉瓦瓦タイルを採用します。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 自転車置場を生徒数分確保している。建物を3階建てとし、高さを抑えることで法的日影規制時間をほぼ敷地内でクリアしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0079

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	泉南市立泉南中学校					
		建設地	大阪府泉南市樽井2丁目					
		用途/区分	学校					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆				B+		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.5	4		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
				住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.8			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								